国の登録有形文化財に答申されました

2025年（令和7年）3月22日付　上毛新聞 掲載

江原本家上毛倉庫（前橋）旧相川家住宅（伊勢崎）

国登録有形文化財に

文化審答申

国の文化審議会（魯恕弘幸会長）は4日、「江原本家上毛倉庫」（前橋市）と「旧相川家住宅」（伊勢崎市）にある計11件の建造物を新たに国の登録有形文化財とする答申を文部科学相に提出した。両市内の登録件数は、前橋市が1件増の28件、伊勢崎市が1件増の28件となる。

江原本家上毛倉庫は、明治期に建てられた江原本家上毛倉庫の3号煉瓦棟、前橋市町にある江原本家上毛倉庫の1号煉瓦棟、3号煉瓦棟、7号煉瓦棟。伊勢崎市三光町にある旧相川家住宅の母屋、土蔵、稲荷社、表門と塀。

江原本家は織糸商や金融業、倉庫業を営む旧家。煉瓦造りの倉庫は、いずれも19世紀末～20世紀初頭に建てられたもので、駅近くに位置し、現在も上毛倉庫（江原有香社長）が活用している。

相川家は江戸時代に町年寄などを務めた旧家で、1897（明治30）年建築の主屋には位の高い人を招くことを想定した式台と内玄関があるなど格式高い造りをしている。相川考古館（相川保館長）として地域に親しまれている。

答申を受け、江原社長は「市民の心象風景になっていると言われる。今後も倉庫本来の使い方でなるべく長く使い続けたい」、相川館長は「貴重な文化財を守り、次世代へ伝えていきたい」と話している。登録される建物はいずれも市指定文化財。

江原本家上毛倉庫3号煉瓦棟（前橋市教育委員会提供）

旧相川家住宅の表門と塀（伊勢崎市教育委員会提供）

2025年（令和7年）3月22日付　朝日新聞 掲載

国登録文化財に

江原本家上毛倉庫群

相川考古館建物群

2024年（令和6年）11月23日付　東京新聞 掲載

金井遺跡群資料 国重文に

文化審答申 武具、副葬品など1801点

上毛倉庫　登録有形文化財について取り上げて頂いた記事はこちら

2025.3.22

上毛倉庫が国登録有形文化財　前橋市内で全28件に｜前橋発、新しい風「めぶく」街。前橋の様々な話題を取り扱う前橋新聞-mebukuです。